

下西委員（公明党）

平成 30 年 3 月 8 日
教育長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）スクールカウンセラーの有効活用について

中学生全員を対象に、カウンセリングを行い、深い悩みや異常な兆候があった場合には、即座に学校と連携して早期に対応することがスクールカウンセラーの更なる有効活用につながり、県内でも一部の学校では学年を決めて既に全員面接を実施して大きな効果を出している。

そこで、まずは、本県の全ての中学校において、こうした取組を行い、スクールカウンセラーを有効に活用していくべきだと思うが、教育長の所見を伺う。

（答）

スクールカウンセラーは、各学校において、悩みや不安を持つ生徒が気軽に相談できる環境を整備することや、教職員のカウンセリング能力の向上を図ることなどについて、指導助言を行っているところでございます。

現在の配置状況や学校規模等を考えれば、すべての中学校において生徒全員のカウンセリングを行うことは困難でございますが、日々生徒と接してまいります教職員とスクールカウンセラーとが情報を共有することなどによりまして、生徒の悩みに寄り添った対応ができるよう、ガイドラインを作成いたしますとともに、連絡協議会において効果的な活用事例を共有することなどを通しまして、各配置校における教育相談体制が充実するよう、各配置校及び市町教育委員会を指導してまいります。